

〈資 料〉

『人間椅子』が構築する妖気漂う世界

——現実世界と虚構世界の間にも潜む境界の無効化——

The Weird Universe Constructed by the rock band named “NINGEN ISU” :
The dissolution of the boundary drawn between the real world and the fictional world

諸井 克英
(Katsuhide MOROI)

はじめに

『人間椅子』という奇妙な名称をもつロック・バンドが30年以上わが国のロック界に生き続けている。このバンドは、特撮ヒーロー番組の『愛の戦士レインボーマン』（1972年10月～1973年9月、NET（現テレビ朝日）：「川内康範」原作）のヒーローである「レインボーマン」に敵対する組織「死ね死ね団」から借用し、一旦『死ね死ね団』と名乗った。しかし、エンターテインメント情報誌の先駆けである情報誌「ぴあ」（1972年7月創刊）で同名のバンドが存在するを知り、『人間椅子』と改名した（和嶋，2017）。このバンド名は、「江戸川乱歩」（1894年生～1965年没）が初期に発表した短編小説『人間椅子』（1925年に『苦楽』誌に掲載）の借用である。しかし、このバンド名は、決して戯れとはならず、このバンドの後々の展開を方向づけた。

「乱歩」によるこの作品は、「乱歩」を少年・少女にも知らしめた所謂「明智小五郎」ものではない。夫が「外交書記官」である「美しい閨秀作家」である「佳子」のもとに1通の手紙が届くところからこの物語が始まる。手紙には「生まれつき、世にも醜い容貌」である「椅子職人」による告白が綴られていた。そこには「佳子」が毎日腰掛けている「肘掛椅子」にその「椅子職人」が隠れて生活していることが記されていた。「悪寒」や「身震い」のする中、「佳子」にはもう1通の手紙が届いた。「別封お送り致したのは、私の拙い創作でございます」と記され、「拙作がいくらかでも、先生に感銘を与え得たとしますれば、こんな嬉しいことはないの

でございます」と結ばれていた（江戸川，2008）。

つまり、最初の1通の手紙は、読者（あるいは「佳子」）に「人間椅子」という妖気漂う現実世界を突きつけるが、もう1通の手紙によってその構成された現実世界が一挙に虚構世界へと転変するのだ。しかしながら、「椅子職人」の企みが真実である可能性もあり、「事実」が「虚実皮膜の間に宙づり」にされたとすれば、「佳子」は「不気味な謎に驚かれ続ける」ことになる（石割，2005）。さらに、宮本（2016）が指摘するように、この作品は、「肘掛いすを隠れ家とし触覚、聴覚、嗅覚を頼りに恋をする男」の物語でもある。

「オドロオドロの世界へひきづり込む、純日本的猟奇バンド」として登場し、わが国に「文芸ロック」というニュー・ジャンル（横山（編），1990）を定着させた『人間椅子』は、「乱歩」が試みたように、現実世界と虚構世界の間にも潜む境界の無効化を企んだのだ。本稿では、この企みを跡づけよう。

『人間椅子』登場の原点としての『三宅裕司のいかすバンド天国』

まず、『人間椅子』の企みの原点となったテレビ番組の説明から始めよう。その番組である『三宅裕司のいかすバンド天国』は、1989年2月11日TBSの深夜枠に『平成名物テレビ』の1コーナーとして、「三宅裕司（1951年生～）と「相原勇」（1967年生～）のMCで登場した番組である（～第43回，1990年12月29日）。

番組の仕組みは、10組（第1・2回目は12組）のアマチュア・バンドが登場し、個性豊かな7人の審査員（1989年3月までは5人；評論家〈萩原健太など〉やミュージシャン〈吉田建など〉により構成）が演奏中に

「赤ランプ くもう見たくない」と「青ランプ くもう少し見たい」のいずれかを押す。「赤ランプ」2つが点灯すると画面が縮小され、すべての審査員が「赤ランプ」を押すとその時点で途中終了となる。3分間だけでも「赤」を押すことがなければ「完奏」となる。ただし、画面が縮小されても、だれかが「青ランプ」を押すと再び全面になるが「完奏」扱いとはならない。最終的に当該回の「チャレンジャー」に選ばれたバンドが前回の「イカ天キング」に挑戦する（その他、「ベストボーカル賞」、「ベストプレイヤー賞」なども選出）。その次の週から5回「キング」を防衛すると「グランドイカ天キング」となる。

この番組は、深夜帯であるにもかかわらず高視聴率を獲得し（1989年11月25日、5.5%；横山（編）、1990）、1990年元旦には「輝く！日本イカ天大賞」が日本武道館で開催された。さらには、「イカ天」という言葉が自由国民社主催の「1989年度新語・流行語大賞」の「大

衆賞」を獲得した。しかしながら、1990年春に起きた番組関係者の大麻事件などもあり、視聴率も急落し、1990年末に番組は終了した。ちなみに翌年の1991年3月にはわが国は所謂「バブル崩壊」に陥った。わずか2年間の番組であれ、3254組のバンドが登場し、その後も多くのバンドがJ-Popの流れの中で活躍した（表1参照）。短期間であるが、J-Pop 史上でも重要な役割を見せたこの番組の背景には、東京・原宿の「歩行者天国」（1977年～1998年）が生み出した「ホコ天バンド」ブームがある（滝川、1992）。この中で「JUN SKY WALKER(S）」（1977年～1998年；別冊宝島、2008）が現れた。ここでは詳細は避けるが、「イカ天」や「ホコ天」は所謂「プロ」と「インディーズ」との垣根を溶解させた。

『人間椅子』の登場

『三宅裕司のいかすバンド天国』の5月20日放送分に、「和嶋慎治」（guitar；1965年生～）、「鈴木研一」

表1 「グランドイカ天キング」一覧

イカ天キング	バンド	期間
3代目	FLYING KIDS	1989年3月4日～4月8日
12代目	BEGIN	1989年9月2日～30日
14代目	たま	1989年11月11日～12月9日
15代目	マルコシアス・バンブ	1989年12月9日～1990年1月20日
19代目	LITTLE CREATURES	1990年4月14日～5月12日
25代目	BLANKEY JET CITY	1990年8月4日～9月8日
26代目	PANIC IN THE ZU	1990年9月22日～10月27日

表2 『人間椅子』によるオリジナル・アルバム一覧

発売日	タイトル	発売日	タイトル
1989年11月10日	人間椅子(インディーズ盤)	11th 2003年1月22日	修羅囃子
1st 1990年7月21日	人間失格	12th 2004年9月29日	三悪道中膝栗毛
2nd 1991年3月13日	桜の森の満開の下	13th 2006年2月22日	瘋痴狂
3rd 1992年6月21日	黄金の夜明け	14th 2007年8月8日	真夏の夜の夢
4th 1993年10月21日	羅生門	15th 2009年11月4日	未来浪漫派
5th 1995年12月10日	踊る一寸法師	16th 2011年8月3日	此岸礼讃
6th 1996年9月20日	無限の住人	17th 2013年8月7日	萬燈籠
7th 1998年2月21日	頽廃芸術展	18th 2014年6月25日	無頼豊饒
8th 1999年3月25日	二十世紀葬送曲	19th 2016年2月3日	怪談そして死とエロス
9th 2000年6月21日	怪人二十面相	20th 2017年10月4日	異次元からの咆哮
10th 2001年9月21日	見知らぬ世界	21st 2019年6月5日	新青年
		22nd 2021年8月4日	苦楽

『人間椅子』が構築する妖気漂う世界

(bass: 1966年生～), 「上館徳芳」(drums: 1962年生～)から成る3ピースバンドの『人間椅子』が登場した。「チャレンジャー」は逃したが、「ベストキャラクター賞」, 「ベストプレイヤー賞」, 「在宅審査員賞」を獲得した(ちなみにこの回の「チャレンジャー」は「JITTER-IN'JINN」(1986年結成～)であった(6代目「イカ天キング」; 横山(編), 1990)。さらに、『人間椅子』は「週間アマチュア・ベストテン」に11週連続ランク・インした(通算で19週; 杉岡・大谷(編), 2019)。また, 「『イカ天』が盛り上がっている流れ」でインディーズ盤であるがCDも発表した(表2)。1990年元旦の「輝く! 日本イカ天大賞」では「和嶋」がguitar部門で「ベストプレイヤー賞」に選出された。

1990年7月には「メルダック」(現在は徳間ジャパンコミュニケーションズ下のレーベル)からメジャー・デビューし, 現時点で(2021年8月)で22枚のオリジナル・アルバムを発表している(表2)。「和嶋」と「鈴木」以外のメンバー変更はあったが, 2004年より「和嶋」, 「鈴木」, 「ナカジマノブ」(drums: 1966年生～)の構成となっている。

『人間椅子』が構成する妖気漂う世界

『人間椅子』による『三宅のいかすバンド天国』への登場曲は《陰獣》である。パンク・ロックに乗せた猟奇的歌詞は, 「江戸川乱歩」による『陰獣』を表象させ, 視聴者にインパクトをもたらした。

[屋根裏部屋からオドロオドロ] [ズリズリ蠢く魍魎魍魎] [月下に禁書が紐解かれ] [腐臭に夜鷹もほくそ笑む]

なお, この曲は, インディーズ盤の『人間椅子』に元々収録されていたが, 『人間椅子傑作選二十周年記念ベスト盤』(2009年1月発売; 徳間ジャパンコミュニケーションズ)で新たに録音された。

この「乱歩」による『陰獣』は, これまで1年半の間休筆していた彼が1928年に『新青年』誌に発表し, 復帰を果たしたという点で話題となった。

探偵小説家の「主人公」は, 「上野の帝室博物館」で実業家「小山田六郎」の夫人「静子」と偶然出会った, それ以来, 文通する仲になった。しばらくして, 「主人公」から相談を持ちかけた。「静子」は, 高校の頃に「平田一郎」と一時的に恋仲になるが, その後, 同郷の「小山田」と出会い, 結婚に至った。しかし, 「平田」から「静子」に冒頭に「静子さん, 私はとうとう君を見つけた」と記された手紙が来たばかりか, 自分が著名な探偵小説家「大江春泥」であり, 「静子」の「身边に起こ

った」「些事」が綴られていた。

そして, 次の手紙では「小山田」と「静子」の命を奪うことが宣言され, 現実に「小山田」は隅田川の汽船発着所の便所下に憐れにも浮かんでいた。ここで主人公は最初の推理に到達した。推理 a) 「小山田六郎」に変態趣味があったことに気づき, 彼はその遊戯の最中に誤って死んでしまった。しかし, その後, 「主人公」による推理は, 第2の推理へと変転する。推理 b) 「平田」, 「春泥」, 「静子」の三者が同一人物である。この推理を「静子」に披瀝した後, 「静子」は隅田川に身を投げた。物語の最後に, 第3の推理が曖昧なかたちで付される。推理 c) 犯人は実在する「大江春泥」。

中島(2017)が指摘するように, この「陰獣」には先の3段階に推移する「主人公」による推理軸に加えて, 「静子」の項に「赤痣の様な太い蚯蚓腫れ」があることに気づいた時の「主人公」が抱いた「不思議にもエロチックな感じ」(江戸川, 2015)に象徴される, 「主人公」と「静子」の恋愛軸も内在している。

バンド名となった『人間椅子』の楽曲化は, 4枚目アルバムの『羅生門』を待つことになる(表2)。ただし, 《人間椅子倶楽部》というタイトルが付される。この頃は, 彼らは, デビュー時の大きいインパクトがやや薄れ, 「そろそろヤバイぞ」という空気を感じていた(杉岡・大谷(編), 2019)。

[人の間が人間で] [愛だ恋だもうぞ寒い] [霧算された負と負から] [さかしまの灯が見える]

これは, 彼らのファン・クラブやテレビ番組のテーマ曲となる。「乱歩」の作品を題材にした楽曲は他にも多くあるが, 当然彼らは, 「乱歩」がつくり出した世界にのみ執着するわけではない。

先述したメジャー・デビューアルバムの1枚目のタイトル『人間失格』は, 「太宰治」(1909年生～1948年没)による『人間失格』(太宰, 2006; 1948年に『展望』誌に掲載)からの借用である。『人間失格』は, 「太宰」の最後の完結小説であるが, 「東北の田舎」の金持ちの名歌に生まれた「葉蔵」が27歳で「脳病院」に収容されるまでの人生が描かれている。「葉蔵」は, 幼少の頃から自分の内面と外見的行動との極端な乖離に苦悩しながら生き, 果てに心中未遂を引き起こす。この小説は, 「太宰」の現実と類比され, 計画的な自叙伝的遺書ともいわれる。彼は, 1948年6月に当時の愛人の「山崎富栄」と入水心中を図り, 帰らぬ人となった。アルバム8曲目に収められた《人間失格》では小説で描かれた世界が抽象的に複製される。

[崩れた世界のはざ間から] [自意識過剰があざ嘯う]
[鏡の自分に叫ぶのだ] [人間失格!] [カミソリがない
カルモチンもない] [首くる紐も ないないない!]

ところで、「和嶋」と「鈴木」は、もちろん時代は異なるが「太宰」と同様に、青森の名門「弘前高校」出身である。とくに弘前市にある「和嶋」の実家はもともと津軽藩士の家系である(和嶋, 2017)。この2人は、隣の中学であったが知り合いであり、ともに名門高校に進学したが、1年間の浪人生活を経て、「和嶋」は駒澤大学仏教学部仏教学部、「鈴木」は上智大学外国語学部ロシア語学科に進学する。4年生の時に古レコード屋で遭遇し、就職せずにインディーズ・バンドとして活動することになったのである(和嶋, 2017)。

『人間椅子』が繰り広げる文芸ロック路線はわが国の範囲を飛び越える。14枚目のアルバム『真夏の夜の夢』ではかの「シェイクスピア」の世界がイメージされるが(杉岡・大谷(編), 2019)、「円盤 猿 閻魔大王とかいろんなの」が「しっちゃかめっちゃかな歌詞」で登場する。「シェイクスピア」(1564年生～1616年没)による『真夏の夜の夢』(Shakespeare, 2003; ちなみに、翻訳者の福田恆存は、原題の *midsummer* は「日本の初夏の爽やかさ」に対応しているので「夏の夜の夢」とした)では、アテネ近郊の森に入り込んだ貴族や職人たちが森の妖精たちと繰り広げる喜劇である。『人間椅子』は、この喜劇を「シェイクスピア」演劇と無縁のキャラクターをこった煮することにより再現を図ったのである。3曲目の《青年は荒野を目指す》では次のように歌われる。

[君若人 自由で清き魂であれ] [汗の滴 伝う胸元
明日が映える] [孤独な夜は 歌を歌わんライラライ
ライラライ] [遠き地平 勇気を糧に脇目も振らず行
け]

さらに、『黄金の夜明け』と付された3枚目のアルバムでは、西洋的オカルティズムの世界が繰り広げられる。このタイトルは、19世紀末に結成された西洋魔術結社の中心人物の一人である Crowley (1904; 1875生～1947没) に対する「和嶋」の憧れに由来するが、「相手がデカすぎて、何を書いていいかわからない」状態であったことが告白される(杉岡・大谷(編), 2019)。1曲目の《黄金の夜明け》では次のように歌われる。

[願いましては善と悪の彼岸なり] [善人なをもて往生
をとぐいわんや悪人をや] [見よ! 東海の空は明けつ
つある] [倒立したる偉大な精神の誕生なのだ]

同時に、「和嶋」は、米国のSF小説家である Love-

craft (1890年生～1937年没) にも思いをよせる(杉岡・大谷(編), 2019)。Lovecraft は、米国のSF小説家である。生前は「パルプ・マガジン」(低質紙を使用した安価な大衆雑誌)に多くの小説を寄稿していたが、不遇な人生を送った。しかし、死後に彼が創出した世界観(所謂クトゥルフ神話)が注目されるようになり、作品が再評価されている。彼の世界観は、「創世記」(創世記(旧約聖書), 1967)を出発点とするキリスト教的世界観の否定であり、「人類以前の地球に存在した旧支配者=巨大生物」(田辺, 2016-2017)の存在の肯定である。11曲目の《狂気山脈》ではその Lovecraft の世界が暗示される。

[御伽話に伯父きがほのめかす] [遠きヒマラヤ古えの
種族] [テケリ・テケリと地底に木霊する] [光届かぬ
禁断の叡智]

暫定的結論

人気作家の「辻村深雪」(1980年生～)は、『人間椅子』の楽曲視聴と素材となる物語との相乗作用を指摘している(「バンドの人間椅子も大好きで聞いていたりして、乱歩の小説も読みながら、同時に「乱歩」に向けられたオマージュにも触れていたのが私の一〇代です」; 北村・辻村, 2015)。つまり、『人間椅子』の企みは、図1に表すように、既知の物語世界をロックの組板に乗せることによる「妖気漂う世界」の構築にあるのだ。例えば、蔓葉(2015)が指摘するように、「江戸川乱歩」の世界は、「作品全体に怪奇幻想が横溢」し、「解かれるべきはずの謎が最後まで残るように工夫」することにより、読み手に表象された怪奇さが残存する。その点で、『人間椅子』の企みは必然的なのだ。

『人間椅子』の企みの成功は、彼らが登場した時に誰もが想起した英国・ヘヴィ・メタル・バンドの「Black Sabbath」(1968～2017解散)が生み出す世界と同じ枠組みである。「Black Sabbath」は、「オカルティズムを個性として最大に活用し」「その暗く怪しい世界と重々しく攻撃的なハード・ロック・サウンドの相性のよさを証

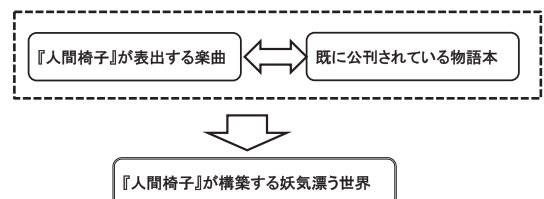


図1 人間椅子が表出する楽曲世界と文芸作品との相関関係

『人間椅子』が構築する妖気漂う世界

明したパイオニア」(船曳, 2006)であった。しかし、ヘヴィ・メタル・バンドでは、一般的に、図1の右側部分にヨーロッパの幻想小説世界や反キリスト教的世界が置かれる。それに対して、『人間椅子』は主として「乱歩」などわが国の妖気漂う物語世界を据える。

『人間椅子』は、今尚アルバム作品を発表し続けており(表1参照)、『新青年』や『苦楽』などわが国の文豪が寄稿した雑誌をタイトルに冠しバンドの一貫性を指し示している。ちなみに、「和嶋」は、中学1年生の時に『クリムゾン・キングの宮殿』(1969年発表)を聴き「狂気と叙情のコントラストに戦慄」した(和嶋, 2017)。今や『人間椅子』は、今も活動し続ける「King Crimson」(1968年～; Smith (2019)参照)にも対置される和製バンドに上り詰めたのだ。なお、「King Crimson」は、「精神世界や幻想性などの深遠なるテーマ」(船曳, 2006)にロック的表現に固執せずに取り組んでいる。

今後は『人間椅子』の音楽的展開を跡づける作業とともに、彼らが対象とした「乱歩」などによって構成された虚構世界の構造の特質を明確にし、図1に表した枠組みをさらに解明する必要がある。

(付記)

板垣美穂(生活科学研究科・生活デザイン専攻2012年度修了)さんには、『人間椅子』による楽曲の整理に尽力してもらった。記して感謝する。

引用文献

- 別冊宝島 2008 『音楽誌が書かないJポップ批評-JUN SKY WALKER(S)と青春ロック80'sの大逆襲!-(別冊宝島1570号)』宝島社
- Crowley, A. 1904 *The book of the law*. 島弘之・植松靖夫(訳)『法の書』1983 国書刊行会
- 太宰 治 2006 『人間失格』新潮文庫
- 江戸川乱歩 2008 『人間椅子』角川ホラー文庫
- 江戸川乱歩 2015 『陰獣』春陽堂
- 船曳将仁 2006 『ブリティッシュ・ロックの黄金時代

- ビートルズが生きた激動の十年間-』青弓社
- 石割 透 2005 江戸川乱歩「人間椅子」-「私」でしかない、或る職人の悲哀- 駒沢短大国文, 35, 20-35.
- 北村 薫・辻村深月 2015 江戸川乱歩の子どもたち ユリイカ 2015年8月号『江戸川乱歩-没後五〇年-』青土社 52-61頁
- 中島智大 2017 江戸川乱歩「陰獣」論-内在する〈恋愛の物語〉- 尾道市立大学日本文学論叢, 13, 195-207.
- 宮本和歌子 2016 江戸川乱歩「人間椅子」論-エログロという評価と心理的盲点- 京都大学国文学論叢, 35, 103-112.
- Shakespeare, W. 2003 『夏の夜の夢・あらし』福田恆存(訳)新潮文庫
- Smith, S. 2019 *In the court of King Crimson. Panegytric*. 大久保徹(監修)・島田陽子『キング・クリムゾン全史-混沌と錬修の五十年-』2021 P ヴァイン
- 創世記(旧約聖書)1967 関根正雄(訳)『創世記-改版-』岩波文庫
- 杉岡 中・大谷英之(編)2019 『椅子の中から-人間椅子30周年記念完全読本-』シンコーミュージック・エンタテイメント
- 滝川 久(編)1992 『原宿サンダー通りホコ天ローラーサウンドムーブメント』はるふゆ出版
- 田辺 剛 2016-2017 『狂気の山脈にて(1)(2)(3)(4)』KADOKAWA
- 蔓葉信博 2015 江戸川乱歩と新たな猟奇的エンターテインメント ユリイカ 2015年8月号『江戸川乱歩-没後五〇年-』青土社 170-176頁
- 和嶋慎治 2017 『屈折くん』シンコーミュージック・エンタテイメント
- 横山征次(編)1990 『イカ天年鑑-平成元年編-』ワニブックス

(2021年9月16日受理)
(2021年10月28日採択)